

6-4 代表地点における年間沈下量の推移

(単位：cm)

地域	市町名	所在地	水準点番号	年間変動量					累積沈下量 (注) 4
				平4	5	6	7	8	
大	東淀川区	上新庄	(北 3)	-0.35	+0.38	-0.04	[-0.57]	-0.02	①-55.91
				-2.26	+0.51	-0.93	[-2.81]	+0.56	①-246.50
阪	鶴見区	鶴見	(東 7)	-1.12	+0.22	-0.74	[+0.20]	+0.51	①-89.80
				欠測	+0.66	-0.02	[-5.43]	+0.27	①-256.26
市	西区	九条	(西 45)	-2.06	+0.39	-0.55	[-1.67]	+1.41	②-141.63
				-1.83	-0.05	-1.08	[-3.14]	-0.41	①-158.99
北	平野区	海岸通	(西 19)	欠測	欠測	-0.58	[-0.01]	+0.41	①-81.63
				-0.56	+0.44	-0.12	[-0.81]	+0.03	③-20.75
摂	津市	新在家	(府133)	-0.51	+0.24	欠測	[-0.10]	欠測	③-57.43
				-0.13	-0.01	欠測	[-0.73]	欠測	③-31.13
摂	高槻市	目垣	(府130)	-0.46	+0.04	-0.95	[+0.49]	-0.16	③-23.68
				+0.20	+0.65	-0.27	[-0.06]	-0.18	③-13.84
東	枚方市	出口	(府201)	-0.19	+0.20	-0.75	[+0.34]	-0.09	③-35.46
				-0.47	+0.59	欠測	[-0.05]	欠測	③-45.72
大	門真市	下馬伏	(府222)	-0.38	+0.41	-0.72	[-0.08]	+0.56	③-58.65
				-0.15	+0.62	-0.56	[+0.17]	+0.45	②-116.90
阪	大東市	灰塚	(府 38)	-0.07	+0.51	-0.95	[+0.30]	+0.77	③-94.06
				-0.30	欠測	欠測	欠測	欠測	③-99.77
南	河内	東大板市	本庄中	-0.75	欠測	欠測	欠測	欠測	③-79.17
				-0.69	+0.29	-2.35	[+0.24]	+0.28	⑤-90.79
泉	八尾市	本町	(府248)	-0.64	+0.70	欠測	[-0.47]	+0.53	③-44.13
				-0.02	+0.42	欠測	欠測	欠測	③-13.46
泉	岸和田市	豊之上町	(府408)	-0.03	-0.29	欠測	[-0.22]	欠測	③-15.72
				+0.57	+0.00	欠測	[+0.77]	欠測	⑦-39.17
州	岸和田市	荒木町	(府412)	+0.44	-0.04	+0.49	[-0.15]	-0.33	⑥-46.60
				+0.75	+0.34	+0.44	[-0.05]	-0.41	⑥-37.09
泉	泉佐野市	上互屋町	(府258)	+0.35	欠測	欠測	欠測	欠測	⑦-10.95
				+1.23	+0.27	欠測	[+0.44]	+0.17	⑥-9.82
泉	泉南市	樽井	(府427)	+0.37	+0.52	+0.11	[-0.21]	+0.01	⑥+1.12

- (注) 1 「年間変動量」欄の平成7年〔 〕は阪神・淡路大震災の影響を含んだ沈下量であり、地下水汲み上げに伴う、公害としての地盤沈下量は不明である。
 2 年間沈下量は、F-21、上町原線、国分原線、泉南原線を不動としたときの値である。ただし、累積沈下量については、昭和10年～38年度の期間は毛馬原線を不動としたときの値である。
 3 代表地点は長期にわたって固定している水準点のうちから任意に選定した。
 4 「年間変動量」欄の「+」は隆起を、「-」は沈下を示す。
 5 「累積沈下量」欄の①は昭和10年度～平成8年度、②は昭和13年度～平成8年度、③は昭和39年度～平成8年度、④は昭和40年度～平成8年度、⑤は昭和42年度～平成8年度、⑥は昭和43年度～平成8年度、⑦は昭和45年度～平成8年度の期間における累積沈下量を示したものである。

6-5 地下水質概況調査測定地点図

